

## 芒の原

芒の原に寝転び、背はくすぐったく感じる  
ああ、この点々とした肌触りよ  
曲げられた茎が背の下でこそりと動く  
この感触に私はぶるぶるとうち震える  
この茂みの愛撫に私は身悶える

さらに求めて手を伸ばし

鋭い葉に掌を当てれば、この女もまた

すっと歯を当てて愛撫を返す  
掌に生じた痛みの何と心地よいことか  
この流れる血を、私は歎ばしく見ている

(1982.4.19)